



第40号

発行 宮城県泉高等学校泉陽会
泉区持監十丁目三九番一号
電話〇三三七七四二一
印刷 創文印刷出版株式会社
青葉区春日町八番三四



ホームカミングデー

同窓会長 桂島 晃

宮城県泉高等学校は創立50周年記念として、昨年11月10日に、東京エレクトロンホール宮城にて記念式典、江陽グランドホテルにて祝賀会を開催し、成功裡に終えることができました。同窓会は、祝賀会を担当し、多くの同窓生はもとより、恩師の方々にもご出席をいただき、関係者を含めると100名を超える盛況ぶりでした。恩師の氏家洋子先生及び同窓生1回生の塩田亨氏のスピーチ、古溝徹氏のサクソフォン演奏、和やかな雰囲気の中で有意義な時を過ごすことができました。

私は、同窓会発足当時から約50年にわたりの会長を務めています。多くの人に支えられながら、途絶えることなく、同窓会活動を継続実施してきました。この間、創立5、10、15、20、30周年記念事業にも関わってきましたが、その節目節目に式典等を開催し、素晴らしい事業（同窓会館及び弓道場建設、部室の修繕、記念誌、同窓会名簿等の作成）が実施されてきています。今回、50周年記念事業として、食堂前の中庭を整備し、一面に人工芝を敷き、多目的に使えるようにしました。この中庭を生徒の個性や、日頃努力していることを発表する場、披露する場にしてほしいと考えています。泉高生同士が互いの良さを認め合い、良好な人間関係を築き、そして何よりも生徒の自己肯定感を高め自分ならできるといふ自信をもってほしい、と思います。この庭を、生徒のために有効活用されることを強く願っております。

天をまっすく突くように伸びている竹は、節があるから折れにくいと言われています。そういう意味では、節目節目に、しっかりと取り組みを行い、併せて在校生の心構えをつくってきている泉高は、竹のようにしなやかで強い、泉区を中心とする伝統校になってきているように思

います。この50年間を振り返るにあたり、同窓会長として苦慮したことは何かというと、総会への参加者を如何に増やすかということであり、役員の方々、同窓会担当の先生方の協力を得ながら、参加者確保のために奔走してきたように思います。同窓会の目的は、同窓生の親睦、母校への寄与とありますが、なかなか明確な目的意識が持てず、総会への参加者が思うように集まらないということが、どの高校においても課題となっていると聞いております。泉高は、現在は若い世代の参加者によって、ある程度活気ある総会になってきています。しかしながら、仙台市内の会場は物価高により使用料等が高騰し、参加費を上げざるを得ず、若い同窓生にとって負担が大きいと考えています。このことを踏まえ、6月の役員会で検討し、今年度より総会を母校で開催しようと考え準備し



Fail Fast Learn Faster

校長 菅原 賢一

同窓生の皆様には、日頃より本校の教育活動に御理解と御協力を賜り誠にありがとうございます。さて、コロナ禍も5年目、昨年、5月の連休明けには、5類感染症に移行する大きな節目を迎えました。その後、

ているところです。母校とは同窓生にとってかけがえのない心の拠り所と言えます。私が一昨年度まで勤務した宮城教育大学では、ホームカミングデーを開催し、多くの卒業生が母校を訪れ、大学教育や母校の学生と交流しながら学生の取組等を理解しています。このイベントの目的は、卒業生の動向把握や交流促進、愛校心の醸成、大学からの情報発信などにより、卒業生との関係強化を図るものです。ホームカミングデーはアメリカで発祥したものですが、現在、日本の多くの大学で開催され、高校、小・中学校でも開催されるようになってきています。

多くの同窓生に母校に足を運んでいただき同窓生の交流はもとより学校の取組や在校生の活躍を理解してもらい、母校愛をより高めたいと考えています。

二度の感染拡大がありました。現在はほぼ終息しています。現在のマスクの着用率は5割程度、にぎやかな高校生活が戻ってきました。5月の泉三校定期戦も、声出し応援あり、保護者観戦ありとなりました。シュルコムに於いて一般応援生徒と選手団が見守る中、泉三校の応援団とチアの面々が一堂に会した開会式は、太鼓に合わせた観客席からの大応援が響き渡る中で、見応えあるエールや演技が交わられました。また、夕方の方の閉会式後、三校の生徒が応援団の演舞と太鼓に合わせ踊り回るストームにも、定期戦を成功させた喜びが溢れていました。

7月の泉高祭も、校内発表・中夜祭・一般公開とフルラインナップで実施され、展示・ステージ・模擬店は、多くの人で溢れました。模擬店の収益金等は能登半島地震で被災された方々に寄付されました事を御報告します。

泉高総体の詳細は活動報告に譲りますが、弓道男子団体が準優勝、バスケット男子がベスト8に入るなど、団体競技の活躍も見事でした。また、弓道男子団体と、陸上競技男女2種目で東北大会に出場し、女子5000m競歩では

インターハイ出場となりました。令和5年度の卒業生268名の進路実績を振り返ってみますと、国立大学68名、私立大学延べ576名、短大3名、看護専門学校25名、一般専門学校13名、公務員2名、民間就職1名などで、コロナ禍の影響が続き、県外の国立大より、仙台市内の私立大という安全志向が見られました。

学級滅完成年度今年度は、3年生232名、2年生238名、1年生240名の総勢710名でスタートしました。本校では、期待する生徒像として「積極挑戦し未来を切り開く生徒」を掲げております。多くの校外イベントが復活する今年、校内の活動に留まらず、積極的に校外に出、多くの方々との関わりから多様な経験を積み、経験から考え、主体的に社会貢献する態度を育てて参りたいと考えております。

今年も本校では、教育活動の更なる発展を目指し、生徒・職員一丸となり精一杯努力を重ねて参ります。本校生が大いに活躍を遂げるためにも、変わらぬ御支援と御協力をお願い申し上げます。同窓生の皆様の御健勝と御活躍をお祈り申し上げます。

今年も本校では、教育活動の更なる発展を目指し、生徒・職員一丸となり精一杯努力を重ねて参ります。本校生が大いに活躍を遂げるためにも、変わらぬ御支援と御協力をお願い申し上げます。同窓生の皆様の御健勝と御活躍をお祈り申し上げます。

創立50周年記念式典を終えて

創立50周年記念事業実行委員 及川 美佳

創立50周年記念事業に際しまして、皆様方より多大な御支援を賜りまして誠にありがとうございました。

実行委員会

令和2年2月14日に創立50周年記念式典準備委員会が開催され、実行委員会の組織や会則の原案を作成し骨格が固まり、令和3年5月18日第1回の泉高校創立50周年記念事業実行委員会が開催されました。委員長に



第1回実行委員会(内田幸雄実行委員長の挨拶)

は内田幸雄教育振興会会長、副委員長に桂島晃同窓会会長が、他にも実行委員、会計、監査委員に同窓会役員から数名が選出されました。その後7回の実行委員会を開いて①記念式典②記念事業③記念誌④祝賀会の4つの事業を柱に、同窓会、PTA、教育振興会、学校が一体となって準備を進めていくことになりました。この間は、新型コロナウイルス感染症拡大期間となり第3回実行委員会は書面会議

記念式典・講演・祝賀会

令和5年11月10日(金)に創立50周年記念式典、記念講演、祝賀会を盛会のうちに終えることができました。記念式典は、東京エレクトロンホール宮城を会場に全校生徒や来賓など805名が出席して開かれました。本校3年福士奏さんの力強い津軽三味線と吹奏楽部の祝賀演奏で開幕し、実行委員長内田幸雄氏の挨拶に続き、学校長式辞、感謝状贈呈、宮城県教育長祝辞と粛々と進行し、生徒会長(現3年)の頼もしい挨拶の後、吹奏楽部の演奏のものと校歌斉唱が声高らかに

なりました。また、記念式典で吹奏楽部の演奏ができるのか、祝賀会は開催できるのかなど記念式典や祝賀会の開催が危ぶまれたこともありました。その後、令和5年5月にコロナウイルス感染症が第2類から5類へと引き下げられたことにより開催がほぼ確定しました。令和6年1月31日に最後の第8回実行委員会が行われ、各部より事業報告、決算報告がなされ終了しました。



記念式典



志村雄彦氏

あったが、勝つことの難しさや勝ち続けるための忍耐力、そしてチームメイトとの絆を部活動を通して学んだことなど、生徒にとっては大変貴重なお話でした。また、「努力の報酬は、成功ではなく成長である」成功は、成長の先にある」などの言葉は心に残るもので

した。その後、江陽グラウンドホテルで行われた祝賀会も多くの参加者を集め、同窓会からは63名が出席しプロジェクターに映し出された50年の映像とともに思い出話に花を咲かせました。本校OB古溝徹さん(50回生)のサクセス演奏や恩師である氏家洋子先生や塩田亨さん(1回生)から開校当時のエピソードなどお話を聞いていただき、今後の泉高校の飛躍への期待を高めて終了しました。



恩師氏家洋子先生スピーチ

記念事業

記念事業としては食堂前の中庭を整備し、生徒たちがおしゃべりをしたり食事をしたり、イベントもできる共有スペースを設置した。ことからは「人工芝広場」を創設しました。今後、地域の住民や卒業生なども使えるようなスペースにした。

1、3、13回生の方々に人工芝やベンチ設置に対して寄付をしていただきました。また「創立50周年記念のほり」を大久保博信様(16回生)に寄付していただき、校門や生徒昇降口に設置いたしました。創立50周年記念事業のためにご尽力くださった皆様、この場を借りて感謝申し上げます。ありがとうございました。



人工芝広場

私の幸運な人生

(普通科5回生/1980年卒) 古溝 徹



私は現在サクソスの講師をしています。子どもの頃から音楽が好きだったので、趣味が仕事になった感じです。よく、夢に向かって努力して、等といいますが、私は努力をした覚えはありません。では、どのようにして私がサクソスの講師になったかをお話ししたいと思います。

＜小学校時代＞

3年生の時の担任の先生に、「ピアノを教わりました。曲は「富士山」でした。私が弾けるようになると先生に褒めていただき、得意になっていました。

4年生の時の担任の先生が私を合唱部の先生の所に連れて行って、推薦してくださいました。当時その小学校は合唱コンクールの全国大会で8年連続優勝していました。当時合唱部は5年生から入れるのですが、合唱部の先生から「君は5年生になったら合唱部に入りなさい」と言われて得意

になりました。しかし、家の引っ越しで転校することになり、合唱部に入ることは出来ませんでした。

5年生の時、転校先の学校は創立5年目の新しい学校でしたが、トランペット隊(鼓笛隊にトランペットが入ったもの)を新しく作るということになったようで、親にトランペットを買って貰える人を募集していました。私はトランペットにそこまで興味はなく、また、買って貰えるはずもないと思い、親に話をしていませんでした。

ある日音楽担当の先生に呼ばれて行ってみると、「親御さんにお話しした? していないならトランペット買って貰えるかどうか聞いてみなさい。」と言われて早速家に帰って話してみると意外にも二つ返事で買って貰える事になりました。

＜中学校時代＞

1年生の時、そのまま吹奏楽部に入れば良かったのですが、そのころの一番の親友(お医者さんの息子)が文芸部に入るといっているので、私も文芸部に入りましたが、しかし、半年しか持たず、9月には吹奏楽部に

転部しました。遅れて入ったためにトランペットはもう一杯で、パーカッションに回されました。はじめは何もわからず大太鼓をたたいていたのですが、サクソスの先輩がおやめになり、私がサクソスを吹くことになりました。

3年生の時、そろそろ進路を決めなくてはならず、私は家から一番近い仙台三高に行きたいと担任の先生に言うと、「だいたい頑張らないと行けないよ。」と言われたので、「では、泉高校にします。」と言ったから「うん、そうしなさい。」と...

＜高校時代＞

当時、スマホはもちろんパソコンやファミコンすらなかった時代です。私の楽しみは楽器を吹くことしかありませんでした。朝は7時に家を出て学校で朝練。放課後も最後まで残って練習する毎日でした。他の人から見れば頑張っているように見えたかもしれませんが、私にとっては好きなことをやっていただけで、特に頑張っている意識はなかったのです。

2年生の後半、私もそろそろ進路を決めなくてはなりませんでしたが、勉強をほとんどしていなかったのでも、一般の大学には入れそうもありませんでした。ちょうど一つ上の先輩が音

大を目指していて、私も「音大なら入れるかも?」と思うようになりました。そして、3年生から、サクソスとピアノを習い始め、何とか合格することが出来ました。

＜大学時代＞

大学3年までは授業にはあまり出ず、あつという間に4年生になってしまいました。それまでほとんど単位を取っていなかったのでも、4年次に68単位を取らなければなりませんでしたが、それもなんとか取り、教職の免許も取ったので卒業しました。

＜卒業後＞

就職活動を全くしていません。就活活動は全くなかった私は、当然実家に帰ってきました。初めての仕事は楽器屋さんのサクソス教室で、生徒は一人。月収は5千円でした。それから、少しずつ仕事が増え現在に至ります。

最初にも述べましたが、趣味が仕事になったので、仕事のストレスは全くありません。テレビゲームを好きな人がほかの人にゲームの上達方法を教えると、感謝された上にお金がいただけるという感じはあります。今思えばこれまで何の苦労もせず、何とか音楽で食べていけるという事は何と幸運なのでしよう。小学3年生の時ピアノを褒めてくださった先生、4

創立50周年記念事業で祝賀演奏をして

3年5組 富士 奏



泉高校の創立50周年記念式典において津軽三味線を弾く機会をいただき、ありがとうございます。また、記念すべき50回生というめぐりあわせに、在校生の一人として嬉しく感じています。

私が演奏の依頼を引き受けさせてもらったのは、津軽三味線の魅力を少しでも伝えられたからです。凝らされた音色からどこか感じる、素朴な津軽の冬の厳しさ、またそれを乗り越え春が訪れるめでたさといった情緒。そんな魅力のひとつを、少しでも皆さんに伝えたいのです。

私はこの大きな舞台での演奏により、ありがたいことに目標がある大切さを改めて実感できました。今回、目標は全校に三味線の良さを届けること。これを達成

するために練習を重ね、私は演奏における表現力をより深めることが出来ました。目標達成のため質の良い練習を重ね、結果として技術が熟練していく。この繰り返しにより私の三味線生活は非常に充実したものとなっていったことに気が付きました。

もちろん三味線に限ったことではなく、どんなことでも目標に向けて頑張ることの繰り返しによって、一度しかない人生は豊かなものとなるのではないのでしょうか。これからも目標を持つことを大切に、何事も頑張っていきたいと思います。

年生の時合唱部に推薦してくださいました先生、5年生の時トランペットを薦めてくださった先生。中学校の時文芸部に入るきっかけだった友達。途中でやめたサクソスの先輩(この二人がいなければ、サクソスは出来

なかった)。音大という大学があるのを教えてくれた先輩、そして何より音大に行かせてくれた両親。他にもたくさんの人たちに支えられて今の私がいるのだと、感謝の気持ちいっぱいです。

興味を持ったことを大切に

(普通科24回生/1999年卒) 本多 誉

はじめに、泉高校同窓会報への寄稿のお話をくださり感謝申し上げます。また新型コロナウイルスの大流行で私たちの暮らしは大きく変化しましたが、5類へ移行となり新たな生活を始められていることかと思えます。

私は平成8年に泉高校に入学しました。たくさんの良き友人と3年間を過ごすことができ、よい思い出が沢山残っています。何より感じたのは、みんなしっかり目標をもって勉強やスポーツに取り組んでいることでした。主体性や積極性のあまりない自分にはとてもよい刺激となりました。宮城大へ進学後は、大学の勉強とは別に多くの本を読み、教養を深める時間を過ごしました。大学生活では比較的自由な時間がとりやすいので、これから進学する皆様は、ぜひ講義以外にも色んな経験をしてみ聞を広げていただければと思います。

は、米・ニューヨークのスーパーマーケット等を視察する研修も経験させていただき、今の自分に大きな影響を与えています。30代に入り、自分の人生を見つめなおしたとき、本当にやりたいことは何かと考えるようになりました。身内に障がいを持った人がおり、障がいについてもっと知りたいと著書などから情報を掻き集めました。そして自らも障がい福祉の仕事に携わりたいと思い、平成28年、仙台市泉区に本部を置く社会福祉法人太陽の丘福祉会に入職を決めました。

私の今の仕事は法人本部の事務職員で、知的障がいを持った方が通所する多機能型事業所「仙台ローズガーデン」の他、保育所型認定こども園や共同生活援助事業所(障がい者グループホーム)、相談支援事業所の運営に携わっています。

大学の論文で「食育」の研究をしたこともあり食品業界に興味を持ち、卒業後は食品関連の会社に勤めました。スーパーマーケットのバイヤーをしていた頃

は、米・ニューヨークのスーパーマーケット等を視察する研修も経験させていただき、今の自分に大きな影響を与えています。30代に入り、自分の人生を見つめなおしたとき、本当にやりたいことは何かと考えるようになりました。身内に障がいを持った人がおり、障がいについてもっと知りたいと著書などから情報を掻き集めました。そして自らも障がい福祉の仕事に携わりたいと思い、平成28年、仙台市泉区に本部を置く社会福祉法人太陽の丘福祉会に入職を決めました。

私の今の仕事は法人本部の事務職員で、知的障がいを持った方が通所する多機能型事業所「仙台ローズガーデン」の他、保育所型認定こども園や共同生活援助事業所(障がい者グループホーム)、相談支援事業所の運営に携わっています。



仙台ローズガーデンでお花を販売している店舗(左)とビニールハウスのガーベラ(右)

賃をお支払いしており、かなり活発な就労活動を行っています。就労活動の一環であるお弁当受注業務では、泉高校の先生方からも定期的にご注文をいただいております。利用者の方は一人一人個性が異なり、支援員の方々は彼らの障がい特性に合った支援をする難しさと向き合いながら日々頑張っています。施設のビニールハウスではガーベラを栽培しており(写真)、一般のお客様も摘み取り体験ができるので、利用者の方は自分たちが愛情込めて育てたガーベラについてお客様に説明したり、摘み取りの仕方をレクチャーしたりしています。

保育所型認定こども園も法人内施設の中核を担っており、「生きる力を育む」を理念に日々子どもたちの保育を行っています。園内行事も多く、子どもたちが主体性をもって体験し考えることで、子どもの個性を伸ばしていくことを大切にしています。こちらも先生方が一所懸命一人一人の子どもたちと接しながら日々の保育を行っています。私も自身も自宅近辺の保育所に子どもを預けている身なので、先生方の日々の努力には頭が下がる思いです。

私は法人本部で法人全体の運営に携わらせていただいています。この社会福祉という分野はこれからもどんどんニーズが変わっていきます。社会福祉分野の動向には常にアンテナを張って仕事していきたいと考えています。現代社会で何が問題であり、何が必要とされているのかを把握し、それに合ったサービスを提供していくことが私を含め法人職員の使命であると思います。

最後になりますが、これから大学・短大や専門学校、そして社会に進まれる方には、自分の興味をもったことに一所懸命注力していただき、それがその後の自分を形成していく上で非常に大切なことであることを忘れないでほしいと思います。

ます。どんな道に進んでも、どんな辛い思いを経験しても、自分をしっかり持っている人は必ず道が開けるはず。挫折や迷いも人生

の宝だと思い頑張ってください。宮城県泉高等学校の今後さらなる発展を祈念いたします。

令和5年度 同窓会入会式



普通科第49回生、英語科第27回生クラス幹事(職員玄関)



同窓会入会式

されました。そして、最後に飛田鷹之君が卒業生を代表してこれからの同窓会員として積極的に活動に関わって行きたいという決意が述べられました。

卒業式の前日2月28日(水)、同窓会会長桂島会長以下4名の同窓会本部役員が参列して普通科第49回生、英語科第27回生、計(268)名の同窓会入会式が行われました。桂島会長より激励の挨拶、同窓会活動についての説明を行った後、卒業生に対して、卒業証書を入れるファイルが贈呈

私の力になる日々

(普通科44回生/2019年卒) 畑 萌



私は今東京で日本語教師として働いています。日本語教師になってまだ2年です。この仕事を目標そうと思っただけで高校1年生のときでした。授業で将来の職業について考えるときにパンフレットに載っていて興味を持った時のことを今でも鮮明に覚えています。元々私は人と接することが好きで、誰かの力になれるのであればしたいと思いました。そこで進学先も日本語教育が学べるところへと決めました。

高校生活で記憶に残っていることをお話しします。授業で今でも一番覚えているのは倫理の時間のことです。それまで自分の考えとしてそれ単体で完結していたものが、山上先生からの1歩踏み込んだ質問によっ

て世界を大きく広げられた感覚がありました。中学生までの狭いコミュニティや考えから一気に社会へと目を向けさせられました。衝撃を受けたとともに自分が知らないことへの興味が広がりました。その後先生の紹介によりOGの方の日本語教育現場に参加させていただく機会がありました。私が初めて日本語教育に携わったときでした。学習者の方との関わり方に戸惑いながらもとても楽しく、将来絶対この教育現場に立ちたいと思いました。そのときのOGの方には進学、就職活動の際も色々相談させていただきました。高校生の時に知り合った人たちが今の私を作る大きな要因になったことは間違いありません。3年生はとにかく受験勉強に必死でしたが、その中でも倫理の課外授業は少し肩の力を抜ける場所でした。チャージングな先生のお話とにぎやかな教室のことは懐かしく大切な思い出です。今回の寄稿のお話をいただいたのもご縁だと感じております。私は第一志望の大学には合格できませんでしたが、あの1年頑張ったことは無駄ではな

かったと思える高校生活でした。

その後大学で多文化について学び日本語教師の資格を取得しました。3年生では日本語教育の専門授業が中心になり日本語学校での実習もありました。それまでサークル活動で外国人に日本語を教えていたのですが、当時の私は日本語を教えることに自信を持っていませんでした。しかし、実習では自分の伝えたいことがうまく学習者に伝わらず、思い描いていた授業を行えないことが続きました。恥ずかしながらもこのようになりたい今でもあります。自分が自信を持っていていなくても人を相手にしている仕事ですから予想外のことが起こります。だからこそ十分すぎるほど準備をする必要性を実感した初めての出来事でした。

〈日本語教師として〉

今私が働いている日本語学校は設立してまだ新しく、事務も教務も体制を整えながら学生を迎えています。学生は主にモンゴル、スリランカ、ネパール、ミャンマーなどアジア圏から来ます。年齢は私と同じ24歳前後の学生がほとんどですが、中には子供が国にいる人や高校を卒業してすぐ来日した人などがおり、それぞれの背景は様々です。彼

らの来日の目的は日本での就職です。特にスリランカの学生は日本の自動車産業に強い憧れを持ってきます。私のクラスの学生は、日本で大型トラックの整備について学びたいと言っています。母国では大型トラックが流通しているが故障したときに修理する人がいないのだそうです。国に帰ったときに自分がその産業を発展させるのだと語っています。私たちは彼らの将来を決める第一歩のサポートをしているのです。そんな彼らの生活は必ずしも余裕があるとはいえませんが、外国人のアルバイト時間は週28時間と決まっています。その中で学費も生活費も進学費用も工面しています。その忙しさから授業中に寝てしまう学生もいますし、宿題をやってこなかったり遅刻欠席を繰り返したりします。そんな時はとにかく面談の時間を設けて学生と話します。生活面、学習面、進路のこと、ビザについてと多方面からアプローチを試みます。特に進路については、学生も初めての留学なのでよく理解できていないこともあり、そうして話していくうちに学生に変化がみられることが多いです。思っていることを言語化してはききだすことで学生の胸の内も整理されるのだと思いま



す。学生と話していると日本語教師としてというよりは、日本人として彼らに接していると感ずることがあります。日本語教師は日本語を教えるだけでなく、日本の文化や考え方についても学生に伝える役割がある。私は考えています。マナーや季節ごとの行事を授業の中でもよく取り上げています。そして私は彼らにとって一番身近な日本人の一人であり、私自身異文化に気付けられても思いません。学生とかかわることで留学生の現状と異文化を学んでいると実感しているからです。もちろん楽しいだけではなく、この一年間で何回もこの仕事の大変さを突き付けられ自信など打ち砕かれました。それでも今前を向いて頑張ること

〈未来の自分を支える〉

社会人としても未熟な私なのでみなさんに偉そうなことを言える立場ではありませんが、今送っている学校生活は必ず未来の自分を支えます。それが友達や先生たちと過ごした時間でも一人で踏ん張ったことでも大きな力になります。そしてその力は将来どのような場所でも生まれます。大学、専門学校、就職先などそれぞれの場所です。少しずつ蓄積されます。どうかそれを噛みしめて前を向いてください。微力ながらこれからもみなさんのご活躍を応援しています。

令和6年度 泉高校泉陽会 総会資料

1 令和5年度 行事報告

令和5年4月10日(月) 入学式
 5月26日(金) 本部役員会
 7月1日(土) 役員会・総会
 8月中旬 泉陽会会報第39号発行

令和6年2月29日(木) 同窓会入会式
 (普通科第49回生・英語科27回生)
 3月1日(金) 卒業式

2 令和5年度 宮城県泉高等学校同窓会 収支決算書

令和5年度宮城県泉高等学校同窓会収支決算書

収入額	3,904,904 円
支出額	936,621 円
残 額	2,968,283 円

収入の部

科 目	予算額	決算額	比 較		備 考
			増	減	
1 会費	898,800	896,100		2,700	1,200円×789名, 転学者返金等
2 繰越金	506,574	506,574			前年度からの繰越金
3 雑収入	6	2,502,230	2,502,224		創立50周年記念事業会計からの繰り入れ, 預金利息
合 計	1,405,380	3,904,904	2,499,524		

支出の部

科 目	予算額	決算額	比 較		備 考
			増	減	
1 運営費	250,000	58,638		191,362	
会議費	120,000	1,814		118,186	会議用お茶菓子代
事務費	35,000	0		35,000	
渉外費	25,000	3,604		21,396	
通信費	20,000	11,640		8,360	役員会・同窓会報等郵送料
印刷費	50,000	41,580		8,420	泉陽会会報印刷代
2 学校行事補助費	300,000	268,983		31,017	
卒業祝い	300,000	268,983		31,017	卒業証書ホルダー
3 生徒会補助費	200,000	9,000		191,000	
生徒会補助	200,000	9,000		191,000	陸上競技部(全国大会)
4 積立準備金	600,000	600,000			
5 予備費	55,380	0		55,380	
合 計	1,405,380	936,621		468,759	

残額 2,968,283 円 …次年度へ繰越し

【積立金会計】

既積立額	既積立利息	令和5年度積立額	計	備 考
0	0	600,000	600,000	1年自動継続定期預金

監査の結果、帳簿並びに収入・支出調書等いずれも適正に処理されていることを認めます。

令和6年6月8日

監事 早坂 信也
 監事 下山 幸希
 監事 藤澤 誠

3 令和6年度行事計画(案)

令和6年4月8日(月) 入学式
6月8日(土) 役員会
8月10日(土) 総会・泉陽会会報第40号発行

令和7年2月28日(金) 同窓会入会式
(普通科第50回生・英語科28回生)
3月1日(土) 卒業式

4 令和6年度宮城県泉高等学校同窓会 予算書(案)

【一般会計】

収入の部

Table with 5 columns: 科目, 本年度予算額, 前年度予算額, 比較(増/減), 備考. Rows include 会費, 繰越金, 雑収入, and 合計.

支出の部

Table with 5 columns: 科目, 本年度予算額, 前年度予算額, 比較(増/減), 備考. Rows include 運営費, 学校行事補助費, 生徒会補助費, 積立準備金, 予備費, and 合計.

【積立金会計】

Table with 4 columns: 既積立額, 令和6年度積立額, 計, 備考. Shows 600,000, 3,000,000, 3,600,000, and 1年自動継続定期預金.

5 令和5・6年度役員 ※()は卒業回

- [会長] 桂島 晃(1)
[副会長] 千葉 仁(1) 菅澤 勇(1) 吉田 恵幸(7)
[幹事] 黒澤 政弘(2) 猪股 純子(6) 藤井美生子(6) 佐藤 孝雄(7) 鈴木 由美(13)
[監事] 早坂 信也(3) 下山幸希恵(13) 藤澤 誠(14)
[会計] 庄司 幸男(1) 馬場みさ乃(36) 高橋 智恵(事務室長)
[参与] 菅原 賢一(校長) 関口 聡(教頭) 浅野目隆浩(教頭)

令和7年度 同窓会総会のご案内

- 1. 日時 令和7年8月9日(土) 午前10時~12時
2. 会場 宮城県泉高等学校
3. 会費 1,000円(当日徴収します)
4. 催しもの(企画検討中) ◎在校生徒との座談会 ◎校地内の自由見学
5. 令和7年度は普通科8回生(昭和58年3月卒)、18回生(平成5年3月卒)、28回生(平成15年3月卒)、38回生(平成25年3月卒)、48回生(令和5年3月卒)、英語科6回生(平成15年3月卒)、16回生(平成25年3月)、26回生(令和5年3月卒)が幹事学年に当たります。よろしくお願ひします。
6. 注意事項
◎当日駐車場には制限がありますので、高校時代と同じように公共交通機関でおいでください。
なお、本校近隣の店舗や施設の駐車場の御利用は、お控えくださいますようお願い申し上げます。
詳しくは、来年7月に学校のホームページに掲載する予定です。何か不明な点がございましたら、事務局までご連絡ください。

令和5年度卒業生合格者数 (のべ数)

Table showing graduation statistics for national, public, and private universities, including department names and student counts.

Summary table for university entrance results, categorized by university type (short-term, specialized, overseas), job, and exam preparation.

2024年度 大学入試を振り返って 進路指導部

令和5年度卒業生は、コロナ禍によって1年生の時から分散登校などの制約がある中で学校生活に励んできました。施行4年目となる大学入学共通テストも踏まえ、より「思考力・判断力」をつけることを目指した授業を受けてきましたが、昨年度の共通テストでは、文章量や読むべき資料の量がさらに増え、本校では苦戦した生徒が多かったようです。しかし、そのような中でも最後まで諦めずに挑戦した生徒は多数おり、国公立大学には東北大、山形大をはじめとして68名が合格しました。私立大学では、上智大学、明治大学、中央大学などの難関大学を含む全国の大学にのべ576名の合格者を出しました。最終的には国公立大学には66名、私立大学には155名が進学しました。懸命な努力を続けてきながらも、第一志望にはあと一歩及ばず涙をのむ生徒もおりましたが、何事も、希望がすぐに叶わないことが失敗というわけでは決してありません。第二志望に大いなる希望を見いだして新たな生活を始めている卒業生もいますし、もう1年、満足できる準備をして第一志望を叶えたいと歩み始めた卒業生もいます。進路指導部としては、目標を設定して地道に頑張る生徒を応援しますし、卒業生であろうとこれから受験に臨む在校生であろうと、ぜひよき未来に向かって堅実に歩いてほしいと願っています。

部活動報告 高校総体 おもな結果

Table of sports results from the High School General Meeting, listing various sports like soccer, basketball, and tennis with winners and scores.

事務局より

今年度の事務局は、及川美佳(普通科11回生)・平澤充(普通科12回生)・嘉藤敏之(普通科13回生)が担当します。よろしくお願いたします。同期会の開催や同窓生の活躍など、会報やホームページで紹介したい記事がございましたらお気軽にご連絡下さい。

泉陽会事務局 泉高校総務部 〒981-3132 仙台市泉区将監10丁目39番1号 TEL 022-372-4111 FAX 022-372-4128 ホームページURL https://izumihigh.myswan.ed.jp

同窓会会報の記念すべき第1号は昭和61年2月28日に発行を続けています。会報を通じて各界で活躍する同窓生の情報を共有するとともに母校、現役生の様子を知り、泉高・泉陽会への帰属意識が深まることを心から願い発刊しています。同窓会報6号、13号、23号、29号が事務局保管ファイルで欠落しています。お持ちの方は、担当までぜひお知らせください。